

第2回「九州災害情報共有システム利活用連絡会」を開催

九州総合通信局（局長:上原仁）は、2月2日（月）、KKRホテル熊本において、第2回「九州災害情報共有システム利活用連絡会」を開催しました。

この連絡会は、地方公共団体の防災情報システム等に連携する、災害情報共有システム（Lアラート）を有効に活用し、災害時の避難勧告・指示など、地域の安心・安全に関するきめ細かな情報を、テレビ・ラジオなどの様々なメディアを通じて、地域住民に迅速かつ効率的に伝達する環境の整備を推進することを目的として開催しているものです。



本会は、情報発信者側から九州各県、県庁所在地の市及び政令市及びライフライン関係団体、情報伝達者側からテレビ、ラジオの放送事業者及びコミュニティFM、ケーブルテレビ関連団体により構成されており、当日は74名が参加されました。



冒頭、本会の会長である九州総合通信局の上原仁局長が、今回の連絡会は講演等を設定したのでLアラートの導入、利活用の一助としていただけるよう活発な意見質問により有意義なものにしていきたいと挨拶しました。



宇田川氏

続いて、総務省情報流通行政局の平松課長補佐及び一般財団法人マルチメディア振興センターの川喜多プロジェクト企画部担当部長からLアラートの最近の動き、利用状況等について説明がありました。

さらに、(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構人と防災未来センター研究部の宇田川氏から「災害情報の有効な伝達に向けて」と題して、災害の事例をもとに情報伝達状況の解説やLアラートの有用性について、また、(株)サンテレビジョン技術局の小畑氏から「Lアラートの活用」と題して、現在検討している視聴者へのプッシュ型の周知方法等について講演があり、具体的な説明に対して、質疑応答も活発に行われました。



小畑氏

今後も引き続き関係者の情報共有や意見交換を行う場として連絡会を開催していく予定です。

お問い合わせ先：防災対策推進室（096-326-7334）